

説明会で確認してくるポイント

これまでどのくらい説明会に参加しましたか？ 夏前に進路選択（学校選び）のポイントに掲載しました。今回は説明会で見てくるポイントを改めてあげておきます。これまでに参加した学校については比較のために振り返っておきましょう。またこれから参加する学校については下記のポイントを参考にしておくようにしましょう。

① カリキュラム（教育課程）

華やかな部活動や修学旅行や学園祭（文化祭）などの行事にとにかく目がいきがちですが、高校は基本的には学習の場です。あくまでもどのような学習ができるのかということは大切です。高校生活の後 自分がどのような道に進みたいのか、ということをしつこく考えなくてはなりません。中学校と決定的に違うのはあなたが自立した学習者であることを求められます。はっきりとした具体的な夢が決まっていなくても、ビジョンを語る必要はあります。理数教育を重点的に学習したいとか、海外研修（国際／語学）があるか…など自分が理想とする教育内容があるかどうかは重要な判断材料です。

高校卒業後の夢を実現するために高校から工業や情報処理などの専門教育を受けるという考え方もあります。専門学科や専門教育は技能が身につく、中には資格がとれる学校があり、就職には有利に働くことが多いようです。説明会や個別相談で確認してください。

② 校風

私立高校にはそれぞれ設立者の建学の精神があり、それに基づいた教育を行っています。宗教の時間がある、別学（男子校／女子校）、制服（標準服）の有無やデザイン、部活動の内容など目に見えるものから、「在校生の雰囲気は自分に合っている」など、合同説明会ではわからない自分の五感で感じ取るものもあります。公立高校も在学している生徒の雰囲気が違うことで、同じくらいの難易度でも校風が異なるので、単純に点数だけで決めるのは危険です。

また面接ではその学校のことをどれだけ理解しているか、その学校の精神に共感しているかということを知ることができますし、またそれが志望理由になると思います。

複数の学校に足を運ぶとその違いが分かります。夏休み頃は合同説明会などで資料を集めるだけでもよかったのですが、この時期にはその学校に出向き、説明（裏面に続きます）

会や体験授業、部活動見学などに参加しましょう。その学校の生徒の雰囲気は公開授業や文化祭など、実際にその学校の生徒の活動のようすを見てくるとよくわかると思います。

### ③ 部活動・学校行事

部活動や学校行事も気になる人も多いと思います。しかし私立高校の特進コース（名称は学校によって異なる）の場合は0時間目（朝学習）や7時間目（放課後授業）もありカリキュラムに大学進学対策を取り入れています。逆に部活動には参加ができず勉強漬けの毎日になるので、部活や行事も楽しみたい…という人には向きません。説明会で確認しておきましょう。

また部活動については強豪校は全国から選手を集めていることも多く、あなたが試合に出場できないことも覚悟しておかなければなりません。

### ④ 校則

公立高校の生活指導は学校によっても異なりますが、全般的には自主性を重んじる傾向があります。それに対して私立高校では細やかな指導を行っている学校が多く見られます。厳しい規則は自分たちを守ってくれるもの、と考えることもできます。どちらがよいかはあなたの価値観次第ですが、いずれにしても自律することは大人になるためには必要な素養です。どんな学校かは在校生のようすを見てください。

### ⑤ 学力

合格できたはいいけれど、自分の学力と合っていない学校で3年間の高校生活を続けていくことはとても辛いことです。面談でも点数の話が中心になりがちですが、高校進学はステータスのためにするものではありませんから、背伸びをしすぎるのも考えものです。入った後は自分次第ですから、どの学校でも主体性を持つことは大事です（学習面に限ったことではありませんが）。大学進学率や指定校推薦などの要素だけで決めないであくまで自分が成長できる、自分に自信が付き伸ばせる環境かどうかで選ぶべきです。

私立高校の説明会や文化祭では個別相談も実施される学校が多くあります。もしその学校への志望がとても強い場合は、個別相談会で相談してみましよう（2・3年の成績持参）。

### ⑥ 施設・設備、その他

I T環境や図書室などの施設の充実具合など考えてみましょう。学習・進学や部活動に励む上で、施設・設備が充実しているかどうかということは必要です。その他、通学時間・方法も確認しなければならないところです。遠ければ時間だけでなく交通費（定期代）もかかります。出願・受験時の交通機関や経路の予習をしておきましょう。

いろいろと見て比べる要素はあります。複数見ることでだんだんと自分の希望が固まったり見えてきたりすることもありますから、可能な限り足を運んでみてください。